

第65期 環境活動報告(2017年7月～2018年6月)

2018年7月

弊社は、下表の5事業活動において、第65期より品質と環境を合せた品質・環境目標を定め活動を行っております。

環境に係る活動としては、施工は作業所ごとに”著しい環境側面”を特定し目標に掲げ環境活動に取り組んでおり、部門は工事成績の向上に繋がる環境予防処置や環境に配慮した地域貢献活動の実施などに取り組んでおります。また、オフィス業務・営業活動は、”著しい環境側面”は目標に掲げず維持管理活動として運用し、環境美化活動や社会貢献活動などに取り組んでおります。設計業務は、環境配慮設計の実施を目標に掲げて取り組んでおります。

事業活動	品質・環境目標		活動項目	達成度評価		
				○：達成	×：未達	
土木施工	1	工事成績評定点の向上	1	着工前検討会で、品質及び環境リスクを検討し、品質、環境それぞれ予防処置を1項目以上決定する。	○	○
			2	地域社会や住民に対する貢献活動を2項目以上実施し、発注者へ報告する。	○	
	2	工事利益の確保	3	上位職者が現場巡回を行い、効果的な指示により品質や環境のクレームや費用損失の発生を防止する。	○	
			4	実行予算計上利益を確保するため、月々の原価管理を厳密に行う。	○	
舗装施工	1	工事成績評定点の向上	1	着工前検討会で、品質及び環境リスクを検討し、品質及び環境の予防処置を各1項目以上決定する。	○	○
			2	最終検査の指摘事項を確実に処置し、顧客検査を受ける。	○	
	2	労働災害、第三者災害を発生させない	3	地域社会や住民に対する貢献活動を1項目以上実施し、発注者へ報告する。	○	
			4	舗設前に、安全施設や交通誘導員の配置計画を含む道路使用許可条件を報告させ、実施状況を臨場又は写真で確認する。	○	
建築施工	1	良好な顧客評価の維持	1	着工前検討会で、品質及び環境リスクを検討し、品質に関する提案を2項目以上、環境予防処置を1項目以上決定する。	○	○
			2	地域社会や住民に対する貢献活動を1項目以上実施する。	×	
	2	工事利益の確保	3	上位職者が現場巡回を行い、効果的な指示により品質面の費用損失の発生を防止する。	○	
			4	実行予算計上利益を確保するため、月々の原価管理を厳密に行う。	○	
建築設計	1	環境配慮設計の実施	1	設計を通じて、環境に対する配慮事項を提案し、採用してもらう。提案数、採用数は建築部長が定める。	○	○
			2	新潟市内の2000㎡以上の建物はCASBEEで評価する。	—	
オフィス業務・営業活動	1	会社の知名度や好感度を向上させる取組みの推進	1	人材確保のために、企業ピーアールを積極的に展開し、ウェブページも適宜見直し、新しい情報を発信する。	○	○
			2	地域性を考慮した環境美化活動や清掃活動を計画し実施する。	○	
	2	技術系社員の労働時間削減対策の推進	3	社会貢献活動として、使用済み切手、エコキャップの収集と窓口組織への寄贈を継続し実施する。	○	
			4	技術系社員の業務で事務系社員が代行できるものを明確にし実施する。	○	